

すてっぴ








9月号



発行/大野城まどかぴあ 男女平等推進センター

編集/男女平等推進センター情報サポーター

朝晩の風がずいぶん心地よくなって、ひと時に比べて随分過ごしやすくなりました。
何カぞ始めるのにはとってもいい季節ですね。男女平等推進センターでは、いろいろな講座を取り揃えて
皆さんのご参加をお待ちしています。ちょっとのぞいてみませんか? 良い出会いがあるかも・・・。

日 時	講座・イベント	会場・講師・料金
9月1日(土) 10:00~12:00 次回第5回は 10月6日(土)	あなたとわたしのための元気塾 (全5回) 第4回『心がかぜをひくとき』-“安心感”と自立- 子どもの心を学んで、社会のみんなで子育てを しましょう! 「ありがとう」のこぼれを愛するプロッコー 先生こと吉村先生のお話です。	吉村 春生さん (西九州大学非常勤講師・臨床心理士)  会 場: 大会議室 受講料: 無料 ※次回第5回の講師は十時 裕さん
10月13日(土) 13:30~15:30	H24 年度大野城まどかぴあ男女平等推進センター 市民グループ活動支援事業 パパと怒り鬼一話してごらん、だれかにー ※~10/5 まで受付	会 場: 会議室 3  参加料: 無料 主 催: 男女平等社会を実現する「チームF」 共 催: 男女平等推進センター
10月18日(木) 10:00~12:00 次回第5回は 11月8日(木)	大野城市男女共生講座 (全5回) 第4回「学ぶ人は美しい」 ~悲観論を足蹴(あしげ)にしよう~ 自己実現のために学び続ける人は美しい。学びは 大きな心のエネルギー源です。学び心は若さを保 つ秘訣です。	馬場 周一郎さん (元西日本新聞記者)  会 場: 多目的ホール  受講料: 無料 ※次回第5回の講師は塩山 善之さん
11月1日(木)~ H25/1月17日(木) 昼の部 13:30~15:00 夜の部 19:00~20:30	ヘルシーエクササイズ講座(後期・全10回) 健康は、私たちの最大の関心事。 年齢を問わず、マイペースでできるエクササイズで す。身体を動かしてリフレッシュしましょう! お友だちも誘って、参加しませんか? ※9/10~10/10 まで受付	会 場: 多目的ホール  講 師: 昼の部⇒藤 像救子さん 船越 光子さん 夜の部⇒土井 孝子さん 受講料: 2,400 円 ※講師は日本健康体操連盟所属 ※託児は昼の部のみ
①11月20日(火) ②11月27日(火) ③12月4日(火) 10:00~12:00	子育て中の女性のための 家族や身近な人とのコミュニケーション講座 (全3回) がまんでも攻撃でもなく、自分も相手も大切にした 気持ちのつながる自己表現方法(アサーション) について学びます。 ※10/1 より受付開始	会 場: 大会議室  講 師: 日高 美紗子さん (NPO 福岡カウンセリング サポートセンター代表) 受講料: 無料 

★講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは⇒男女平等推進センターへ

〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号

TEL (092) 586-4030

FAX (092) 586-4031

開館日時/月曜日~金曜日 9時~19時

第2・4土曜日 9時~17時

閉館日/第1・3水曜日、第1・3・5土曜日

日曜日・祝日、年末年始



左のマークのある講座・公演は託児
が利用できます。開催日の1週間前
までにお申し込みください。

・1人1回600円

・満1歳~小学校就学前まで

ホームページ <http://www.madokapia.or.jp/>

あなたとわたしのための元気塾（第2回）

日にち：7月7日（土）

「メディアとの賢い付き合い方

～情報社会を多様に生きる～

講師：藪野 祐三（九州大学名誉教授）

元気塾第2回はテレビやラジオでおなじみの藪野先生でした。情報サポーターとして活動している私はメディアに興味があり、九州大学の名誉教授で

メディアの送り手でも

ある藪野先生のお話

が聞けるのを楽しみに

していました。

今回は、①政治と

メディア ②国際社

会とメディア ③メ

ディアそのものについて

分かりやすく話してくださいました。



中身がないのにメディアがつくった実体

①政治とメディアでは、めまぐるしく変わる政治の世界の勢力図の中で、実績がない中身が空っぽの政治家でもメディアが報道することで力を持つ不思議を感じました。

ある元総理は記者会見をテレビニュースの編成に合わせた時間に関き、長いコメントを話しても15秒しか報道しないことが分かっているのであえて短いコメントしか話さないそうです。別の元総理が妻に「目つきが悪い」といわれるのは、活動家である人の値踏みをするから。深夜に生放送される政治討論番組は、視聴者にチャンネルを替えられないようにガンガン攻め立てて、30秒で話題を変える演出だそうです。

また、与党と野党では討論会の話法が違うそうです。野党は話の途中で反論するが、与党は話を受けて返答し、反論はしない。

聴き上手な政治家が信頼されるそうです。これは夫婦喧嘩にも応用できますね。私も聞き上手になれば夫婦円満かな？



カメラの裏側を想像する力

②国際社会とメディアでは、犯罪の起こる場所は決まっています。メディアはその場所だけを映します。たとえばメディアが、バグダットの爆撃現場を放送すると、私たちは市内全部が爆撃されていると感じますが、実際は他の場所は安全で、普通に住んでいる人がいます。エジプトの砂漠の中のピラミッドの映像も、そのカメラの後ろは市街地が広がっています。昨年の震災報道で、日本中が被災したと勘違いした先生の海外の友人たちから、お見舞いが多数寄せられたそうです。国際会議などで渡航経験が豊富な先生の解説から、メディアが報道する一部分ではなく、全体を見る大切さに気づかされます。

現場では報道する人の人生体験がでる

③たとえばこの記事、実際は2時間の講座を50代女性の視点で感じたことを要約して、この1ページ何行かで伝えています。60代男性が取材したら違うことを感じます。特にスポーツ新聞は同じ試合でも「惜敗」「辛勝」どちらの記事にするかは応援するチームで違いますし、政治記事も新聞社によって扱いが違います。テレビ番組は、視聴率やスポンサーの意向で内容が決まるそうです。先生が重鎮として解説や辛口コメントで番組を引き締めていらっしゃる報道番組を視てもそうですが、テレビのコメンテーターやマスコミ・報道現場の記者は若者が多く、若者の感覚でニュースや番組が作られています。何歳の人の視点・感覚・立場で伝えているのかを考えるのも重要なようです。



「一を聞いて十を知る」ということわざがあります。記事を書くには十調べて一を採るのが基本です。その記事の後ろにある丸を読む力、カメラの後ろ側を想像する力をつけるには、一日10分でも活字に親しむことが大切だそうです。

（情報サポーター 森）

親子と託児サポーターとの交流会

日にち：7月30日（月）

朝から雨がはげしく降るなかで、親子34組75名の方が参加されました。受付で名前シールをもらい親子で「わくわく ときどき」の入場です。

すぐに会場の雰囲気慣れる子ども、入り口に座り込んで泣き出す子ども、それでも託児サポーターは、やさしく声をかけます。すると泣き顔が笑顔に早変わり！いよいよ、スタートです。お歌の時間、子守歌を歌いながら、親子で背中がゆらゆら動いている様子に、素直にあたたかい気持ちになりました。



楽しい歌がいっぱい！

次は、大型紙芝居。子どもたちは、だんだん前進して、くいいるように紙芝居を見ていました。その後、託児の際に出されるおやつを試食と交流会となりました。アレルギーの心配には、事前の申し出により対応できるとのこと。託児サポーターも交流の場に加わり、対話もはずみました。

プログラム後半で、リレーとバスごっこ。会場に子どもたちの元気いっぱい声が響きます。みんな音楽にあわせて、走りました！回転しました！託児サポーターも、安全に気をくばりながら、笑顔の声援です。退場するときも、親子の顔をみながら、ひとりひとりに「さよなら」の声かけをしていました。



みんな、楽しかったね～
♪

帰り際、「今度いつあると？」とのうれしい言葉。毎年大好評の交流会に、来年も期待したいと思いました。

（情報サポーター 有吉）

大野城市男女共生講座（第2回）

「お笑いの世界、落語を学ぼう」

～落語の中の女と男～

日にち：8月2日（木）

講師：粗忽家 酔書さん（そこつやよいしょ）
（宗像落語会会長）

調子のよい三味線の出囃子によって、にわか作りの高座に講師「粗忽家酔書」さんが「よいしょ」と納まる。本業ではないとはいえ、噺家を名乗るだけに縦板に水、つかみから本題に入るまでの何気ない話でも受講生を笑わせる。さて本日の演目「熊の皮」は、少し間の抜けた夫としっかり者の妻との掛け合いのおもしろさを題材としている。2人の会話の随所に出てくる固定的役割分担の逆転で笑わせるのだ。言葉巧みに、夫に炊事、洗濯、お使いまで**させる**妻。そのありえない状態と夫の間抜けぶりが笑いを誘う。夫より賢い妻や家事を**させられる**夫は、社会的に認知されない。昔から、ずーっといまだにくすぶっている。ところで、酔書さんは紙切りもこなす。

三味の音に乗りリクエストされた「お題」にそって体を揺らし、はさみを動かしていく。もちろん軽妙なおしゃべりで笑いを取りながらだ。これが独学だというから脱帽だ。

講座のテーマにそって歴史、鳴りものや扇子、手ぬぐいの使い方など落語の基礎知識も知ることができた。何よりこんなに笑った講座は初めてだ。笑顔で帰る受講生の姿が印象的だった。



講座のテーマにそって歴史、鳴りものや扇子、手ぬぐいの使い方など落語の基礎知識も知ることができた。何よりこんなに笑った講座は初めてだ。笑顔で帰る受講生の姿が印象的だった。

メタボ

（情報サポーター 満腹亭女多忙こと、ちびまま）

◆◇平成 24 年度人権を学ぶ講座◆◇

大野城市人権女性政策課では、みんなの人権を守るためにさまざまな角度から人権について考える講座を開催します。あなたも参加してみませんか？ ※時間は全回 10：00～11：30

第 1 回	9/8 (土)	子どもの人権	まどかぴあ視聴覚室
第 2 回	10/13 (土)	女性の人権	北コミュニティセンター視聴覚室
第 3 回	11/17 (土)	高齢者の人権	南コミュニティセンター視聴覚室
第 4 回	1/9 (土)	同和問題	東コミュニティセンター研修室 1・2
第 5 回	2/16 (土)	障がい者の人権	中央コミュニティセンター研修室 1・2
第 6 回	3/9 (土)	人権全般	まどかぴあ会議室 2

お申し込みは不要で、
参加費無料です。
お気軽にご参加ください。

<問合せ先>

大野城市
人権女性政策課
092 (580) 1840



9月の男女平等推進センター

日	曜	予 定
1	土	センター閉館日あなたとわたしの元気塾④ 市民活動支援事業 スキルアップ 簿記 2 級⑪
2	日	センター閉館日
3	月	
4	火	スキルアップ 簿記 2 級⑫ JW-CAD 初級講座①
5	水	休館日
6	木	スキルアップ 簿記 2 級⑬ JW-CAD 初級講座②
7	金	親子のためのブックタイム①
8	土	
9	日	センター閉館日
10	月	託児サポーター一定例会
11	火	スキルアップ 簿記 2 級⑭ JW-CAD 初級講座③ 啓発サポーター一定例会
12	水	
13	木	スキルアップ 簿記 2 級⑮ JW-CAD 初級講座④ 大野城市男女共生講座 (館外研修)
14	金	
15	土	センター閉館日スキルアップ 簿記 2 級⑯
16	日	センター閉館日
17	月	センター閉館日
18	火	スキルアップ 簿記 2 級⑰ JW-CAD 初級講座⑤ 情報サポーター編集会議
19	水	休館日
20	木	スキルアップ 簿記 2 級⑱
21	金	親子のためのブックタイム②
22	土	
23	日	センター閉館日
24	月	福祉住環境 2 級①
25	火	スキルアップ 簿記 2 級⑲ 大野城市男女共生講座 (館外研修)
26	水	
27	木	スキルアップ 簿記 2 級 福祉住環境 2 級②
28	金	
29	土	センター閉館日スキルアップ 簿記 2 級
30	日	センター閉館日

まどかぴあホームページで「すてっぷ」のバックナンバーもご覧いただけます。みなさんのご意見・ご感想をお寄せ下さい。



相談のご予約・お問合せは…
☎092-586-4035へ

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内☆

相談は無料です。まずはお電話してください。

■総合相談・・・月曜～金曜 9時～17時

※土・日・祝日と休館日はお休みです。

面接相談 (要予約) と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談・・・火曜・木曜 月4回

面接、電話相談。予約してください。

生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。

<今月の相談日程>

9月6日・20日・27日(木)、11日(火)

■法律相談・・・第1～4木曜日

13時～16時 面接相談のみ。予約してください。

弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談・・・9月12日(水) 10時～12時

面接相談のみ。予約してください。

福岡県福岡労働者支援事務所の労働相談員、
就業アドバイザーが相談を受けます。

ひとりごと 「おいし～♪」 団塊世代の私の子供の頃、食事は母親や姉たちが準備し、家族そろって、無駄口を言わず静かにが原則で、父親は“おいしい”など口にするのではなく、外食もよほどのお祝いでない限りなかった。それに引換え近年の大方の家庭では、食卓に出来合いの惣菜が並んだり、外食の機会が多くなっているようだ。私は、食事は“手作り料理”に限ると思っている。それは「食は健全な肉体と精神を育てる」から。おふくろの握った“おにぎり”が実に美味しかったのは、きっと愛情いっぱいの手で握り深みのある味となっていたから。何はなくとも、愛情いっぱいの手作り料理が大切だと思うが、皆さんは？だからといって食事は女性が作るものだと思っているのではないし、私も年に数回“男の手料理”を披露する。食べた孫が、満面の笑みを湛えて“おいし～♪”の一言は実にいいもの。先日2歳の双子姉妹におにぎりを握らせ、山歩きをしたときも笑顔で“おいし～い”。きっと心優しい大人になると信じてやまない。
提案したい！おやじ諸君および私と同年代の厳格な父親へ。“男性料理教室”の類に一度挑戦しては如何だろう。必ず、家族がお父さんを見直すのは確かだしあなた自身きっと新しい発見があるはず。
(情報サポーター しもおおりだんしゃく)

